

キャラクター名
黒屋 健治

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン エグザイル		ワークス	刑事	カヴァー	記者
オプション			年齢	40	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	殺戮		初期侵食率	36 %
出自	安定した家庭	経験	絶縁		邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	13
感覚	1	1	3			5	(非装備時)	13
精神	3	0	0			3	戦闘移動	18
社会	2	0	0			2	全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	5		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達	3	
運転：四輪	2		芸術：			知識：			情報：裏社会	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
拳銃	射撃	5r+4		3		
ポルトアクションライフル	射撃	5r+5		8		マイナーアクションで命中+5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ブラックマーケット	
ウェポンケース	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
生還者	P	N		
白羽 明華	P 純愛	N 悔悟		
白羽 悠	P 庇護	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P: 18

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト/ノイマン	3	2	Xジャー			シンドローム		
効果：								
コンバットシステム	3	3	Xジャー/リア			射撃		
効果： 判定D+[Lv+1]								
生き字引	1	2	Xジャー	至近		意志		
効果： <情報：>の代わりに判定 情報収集のダイス+LV								
エクスマキナ	3	4	Xジャー/リア			効果参照	リミット	
効果： 判定の達成値を+10 1シナリオにLV回								
確定予測	2	4	Xジャー			シンドローム		
効果： リアクションのクリティカル値を+2する。1シナリオにLV回まで使用できる。								
異世界の因子	1	5	オート	視界			80	
効果： シーン中に使われたエフェクトをシーン中Lv1で覚える。ピュア、エネミー専用は不可。シナリオ1回								
戦神の祝福	1	20	Xジャー	武器		白兵/射撃	120	
効果： 攻撃+[Lv+4]D シナリオ1回								
ブラックマーケット	1		常時					
効果： 常備化ポイントを+[LV×10]								
暗号解読	1		Xジャー			自動		
効果： あなたに超絶的な言語センスがあり、どのような暗号や未知の言語であろうとも解読できることを表わすエフェクト								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「おじさん、争いごとは得意じゃないんだ。でも、銃を撃つのは苦手じゃないんだ。」
「悪を恨むな。そして守りたいものを守れ。おじさんみたいに後悔しないために。」

少し腰の低い頼りなさそうなおじさん。
運動はあまり得意ではないと言っているが、本人曰く逃げ足だけは早いとのこと。
見た目に反して危険な事件や裏社会について調べるジャーナリストをしており、結構な数の修羅場を潜り抜けている。

仲間に対しては穏やかな性格だが、悪党には少し冷たい性格をしている。
だが、それでも極力は話し合いで解決しようとしており、進んで殺すこともしない。

銃の腕前はかなりのもので、相手の急所を正確に撃つことが得意。

黒屋は元々は刑事だった。
刑事に成りたての頃はあまり正義感は強くなかったが、正義を掲げる仲間達、そして刑事である自分を誇りに思ってくれる妻と共に過ごしているうちに、刑事としての自覚が芽生えていた。
そして数々の凶悪犯を逮捕する敏腕刑事となった彼は、自分の道を応援してくれる妻、すくすくと成長する子供と共に幸せな家庭を築いていた。

ある時、犯罪組織を調査していた先輩の刑事が殉職した。
彼の仇を取るために跡を継いだ黒屋だったが、犯罪組織を捜査していた刑事は既に何人も殉職していたため、周りの刑事たちは皆反対した。